

# 平成25年度事業報告書

(公益事業)

## 公1事業、写真に関する創作活動の奨励、人材の育成、教育に係わる事業

(1) 小学生を対象とした「写真学習プログラム」を全国の小学校47校で平成25年4月～平成26年3月にかけて実施した。指導者26名、参加児童数1,341名。(過去9年間の合計476校18,179名)。富士フィルム㈱の協力でいった。また平成24年度に「写真学習プログラム」に参加した児童の作品、計1,016点を富士フィルム㈱・富士フィルムイメージングシステムズ㈱が主催する“PHOTO IS”想いをつなぐ「30,000人の写真展2013」の併設イベント「“PHOTO IS”小学生の眼」として、7月から9月まで東京から福岡の7会場に展示した。子ども達がどのような物に興味をもって撮っているか、子ども達の多様な感性を鑑賞していただいた。

(2) 「エコトークフォトコンテスト」を都近郊の5カ所の小学校で実施した。参加児童164名の作品を選考し、8月に長野県のNPO法人が実施している山の家で親子の体験実習を行った。クラレトレーディング㈱の協賛。

(3) 第7回高校写真部顧問を対象とした「デジタル写真講座」を、全国高等学校文化連盟写真専門部との共催で7月3日(水)宮崎県宮崎市、10月13日(日)香川県高松市の2カ所で行った。㈱ニコイメージングジャパンとエプソン販売㈱の協力でいった。

日時	場所	講師	受講者
7月3日(水)	宮崎市青少年プラザ	松本徳彦、桑原史成、芥川 仁(補助)	教師26名
10月13日(日)	香川県立高松商業高等学校	熊切圭介、桑原史成、上野照文(補助)、蜂谷秀人(補助)	教師18名

(4) 技術研究会を行った。

開催名	場所	日時	参加数
第1回「電子書籍写真集の出版」と「広色域・高精細印刷」協賛：㈱相互	㈱相互 会議室	5月10日(金)	36名
第2回(名古屋)「今更聞けないフォトショップの基礎知識PART2」講師：永嶋サトシ(JPS会員)	愛知芸術文化センター12階アートスペース・F	6月8日(土)	52名
第3回「名取洋之助写真賞ワークショップ」講師：広河隆一(JPS会員)	日比谷図書文化館	7月12日(金)	36名
第4回「Adobe PhotoshopCC&Lightroom 5」講師：柄谷宗央(アドビシステムズ㈱)	JCIIビル6階会議室	12月3日(火)	92名
第5回(関西)「ネット時代を生きる 電子書籍で写真集」講師：真辺庄帝(㈱相互・クロスメディア事業部部長、クリエイティブ・ディレクター)	大阪本町・愛日会館	12月6日(金)	34名

(5) 専修大学のジャーナリズム講座で「報道写真論」の2013年第3回講師に宮嶋茂樹、樋口健二会員を派遣した。

## 公2事業、写真の表現に関する展示、講演、保存に係わる事業

(1) 「第38回2013JPS展」を東京、京都、名古屋で開催した。後援：文化庁、東京都他  
公募作品受付：12月15日(土)～1月15日(火)

作品審査：1月30日(水)

審査員：田沼武能(審査員長)、宇井眞紀子、松本徳彦、本橋成一、石田立雄(『CAPA』総編集長)

応募総数：2,317名7,353枚(一般部門：2,179名7,009枚、20歳以下部門：138名344枚)

入賞・入選者総数：289名494枚

一般部門：257名425枚(文部科学大臣賞1名、新設・東京都知事賞1名、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、奨励賞5名、優秀賞27名、入選219名)

20歳以下部門：32名69枚(最優秀賞1名、優秀賞9名、入選22名)

会員作品：「プロフェッショナルの世界」パート4 59名(5枚組写真)295枚

イベントコーナー：「ヤングアイ」参加校18校

総展示数：807枚（公募：289名494枚、会員：59名295枚、ヤングアイ：18校18枚）

総入場者数：8,378名 2013JPS展副賞提供社：52社。

入場料(各展共通)：一般700円(団体割引560円)、学生400円(団体割引320円)、高校生以下無料、65歳以上400円(東京)、65歳以上無料(名古屋、関西展) ※団体は20名以上。

開催名	会場	日時	参加数
◆東京展（後援：文化庁、東京都、共催：東京都写真美術館） 表彰式 講演会「東日本大震災・被災地の祭りー親子二代で撮り続けた東北の60年ー」講師：芳賀日出男（JPS名誉会員）・芳賀日向（JPS会員） 受賞パーティー イベント：アトリエナー：5月26日（日）「誰でも撮れるテーブルフォト」講師：写真展事業委員、協力：(株)ケンコー・トキナー、(株)セコニック、マルマン(株)、ビデオジョイント・エックス(株)。	東京都写真美術館 B1展示室	5月18日（土） ～6月2日（日）	4,382名
	東京都写真美術館ホール	5月19日（土）1時	190名
	〃	〃 3時	180名
	ビデオステーション恵比寿 東京都写真美術館外エ	〃 5時 5月20日（日）	196名 15名
◆関西展（後援：文化庁、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会） 表彰式・講評：田沼武能 講演会：「近所論、こことそこ」講師：大西みつぐ（JPS会員） 撮影会：「きものでフォトウォーク～in京都・岡崎～女性のためのデジタル一眼レフカメラ講習」 講師：柴田明蘭、大道雪代、田口葉子（JPS会員） 協力：ペンタックスリコーイメージング(株)、エプソン販売(株)	京都市美術館別館	6月18日（火）～ 23日（日）	1,916名
	京都市国際交流会館イベントホール	6月22日（土）	135名
	〃 岡崎公園	〃 6月19日（水）	187名 11組
◆名古屋展（後援：文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会） 表彰式・講評：熊切圭介 講演会「里山を撮る」講師：今森光彦（JPS会員） レクチャー：「気軽に何でも写真相談室&女性・初心者向け！ペット・お花の撮り方教室」講師：スギ☆カナ、原田佐登美（JPS会員）	愛知県美術館展示ギャラリーH・I	7月2日（火） ～7日（日）	2,080名
	愛知県芸術文化センター12階A室	7月6日（土）	214名
	〃	7月6日（土）	

(2)「2013年新入会員展ー私の仕事」を開催した。

会期	場所	入場数	備考
7月11日（木）～17日（水）	アイデムフォトギャラリー「シリウス」	584名	展示38名76枚 参加者124名
7月11日（木）18:00～19:30	〃 オープニングパーティー		
7月26日（金）～8月1日（木）	富士フィルムフォトサロン大阪	3,063名	

(3) 第7回JPSフォトフォーラム「なぜ、写真を撮るのか」を11月9日（土）、有楽町・朝日ホールで開催した。参加者466名。（共催・朝日新聞出版、後援・文化庁）

10:30～16:00 協賛各社による最新機材・技術展、11:00～17:00 会長挨拶、講演とパネルディスカッション  
パネリスト：木之下晃、坂田栄一郎、立木義浩、田沼武能(司会・勝又ひろし『アサヒカメラ』編集長)

協賛(9社)：エプソン販売(株)、オリンパスイメージング(株)、キヤノンマーケティングジャパン(株)、(株)ケンコー・トキナー、(株)シグマ、(株)タムロン、(株)ニコンイメージングジャパン、富士フィルムイメージングシステムズ(株)、リコーイメージング(株)。

(4) 文化庁委嘱事業「文化関係資料のアーカイブ構築に関する調査研究」

①今年度の東京国立近代美術館フィルムセンター保存棟（温度10℃、湿度40%RH）への収集・整理したフィルムの収蔵は、7月18日と11月14日の2回行い、浅野隆（1926～2013）、佐藤明（1930～2002）、竹内廣光（1929～96）、ホレス・プリストル（1908～97）、南良和（1935～）、山端庸介（1917～66）、蔵原輝人（1944～2010）、中島健蔵（1903～79）、渡辺義雄（1907～2000）9名のフィルム15,148本を収蔵した。（3回の合計25,008本）

- ②収蔵にあたってはフィルムの酸性度試験をし、酸性紙製のフィルムホルダーをすべて中性紙のものに取替えたのち、A-Dストリップレベル0.5以下のものを収蔵した。
- ③日本写真保存センターセミナーを開催した。写真フィルムの劣化が進んでいる中で、長期に保存するにはどうしたらよいか、安全に保存するための包材（ネガホルダー、ストレージボックス、脱酸吸湿紙、調湿薬、試験試薬など）について、実物を手に取りながら分かりやすく解説した。全国各地の公文書館、博物館、美術館、郷土資料館などの専門家をはじめマスメディア、大学関係者等の聴講で、フィルムの劣化と保存対策に強い関心が起こっていることが分かった。

開催名	会場	日時	参加数
page2014オープン・イベント・JPSセミナー「写真フィルムを長期保存するには――無酸・中性紙の包材を前にして――」 講師：山口孝子（東京都写真美術館保存科学専門員）、増田竜司（日本無機株式会社開発知財部副部長） 協力：㈱コスモス インターナショナル、㈱資料保存器材、特種紙商事㈱、日本無機㈱、フォトギャラリー・インターナショナル、ラーツ・ジュール・ニッポン㈱。	池袋サザンシティ文化会館7階会議室	2月5日(水)	173名

- (5) 東日本大震災復興支援のための事業として、写真展「生きる」を静岡市のグランシップにて開催。同展は、「ぼくたちの3年～写真展『生きる』から見えるもの～」と題した企画展の主要な展示として開催した。会期は2014年3月8日（土）～30日（日）。観客数2,404人。  
また、「Post-TSUNAMI」展として国際交流基金の協力で海外でも開催。フォトキナ2012での展示開催の後、ケルン市の日本文化会館での展示を皮切りに、オーストリア・グムンデン市、旧東ドイツのハレ市（ハレ現代美術館）、カイザースラウテルン市、デュースブルグ市（エッセン大学）とドイツ国内を巡回した。今後も更にドイツ国内数カ所での開催を予定している。
- (6) CP+2014関連イベントJPS会員による写真展「プロフェッショナルの世界」を平成26年2月13日（木）～16日（日）みなとみらいギャラリーで開催した。2013JPS展会員部門より59名の作品を展示、来場者3,439人

### 公3事業、写真に関する著作権の普及、啓発に係わる事業

- (1) 著作権に関する研究会、セミナーを開催した。

開催名	会場	日時	参加数
第1回「写真著作権と文化～著作者の権利を追究から学ぶ～」講師：小川明子（早稲田大学知的財産拠点形成研究所招聘研究員）	JCIIビル6階会議室	9月30日(月)	61名
第2回「写真家の関わるこれからの契約 創作・表現・伝達を持続するために」 講師：川内明日香(文化庁長官官房著作権課 著作物流通推進室 企画調査係長)、北村行夫(弁護士)	JCIIビル6階会議室	11月18日(月)	65名
第3回(関西)「写真著作権と文化～著作権の基礎と追究を学ぶ～」講師：小川明子(早稲田大学知的財産拠点形成研究所招聘研究員)	大阪本町愛日会館	2月19日(水)	60名

- (2) Web上での写真著作権の問題点の研究をした。
- (3) 各種著作権契約に関する研究をした。「写真家のための契約マニュアル」と「写真の依頼撮影・寄稿覚書」の作成と販売及びホームページでの公開をした。冊子複写式1冊：会員800円、一般1,000円。
- (4) 著作権に関する「著作権よろず相談室」を毎月第3水曜日実施。相談数20件。
- (5) 著作権の情報収集と公表を行った。
- (6) 保護期間70年延長への継続運動をした。
- (7) 保護期間の満了した写真著作権の現状調査継続と関係機関との話し合いの検討をした。

### 公4事業、写真に関する図書の編集発行、電子出版・情報に係わる事業

- (1) 『日本写真家協会会報』を年3回（No. 153～155）発行した。
- (2) 電子出版、インターネット、ホームページを利用したサービス業務を行った。

## 公5事業、写真に関する優れた技術開発、表現活動に対する顕彰事業

- (1) 第39回「日本写真家協会賞」贈呈式を、12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。  
第39回「日本写真家協会賞」を、株式会社クレヴィスに贈呈した。贈呈理由は、株式会社クレヴィスは、「日本の自画像」展やロベール・ドアノー展など内外の著名な写真家の作品を通して写真の持つ魅力を伝えるため、全国各地で積極的に写真展を開催してきた。同時に写真家の講演会や写真集の出版も行い、常に新たな世界を視野に入れながら、多角的に写真文化の向上を目指していることに対して。
- (2) 新進写真家の発掘と育成を図るために、第9回「名取洋之助写真賞」の公募を行った。  
①公募：35歳までの新進写真家を対象に、同一テーマの作品(プリント)30点を、公募期間は7月1日～8月20日までに提出。今回から応募者の対象年齢を30歳から35歳に引き上げた。そのため応募者は昨年を上回り、プロ写真家から大学在学中の学生まで、35名37作品が寄せられた。9月9日、鎌田慧、大島洋、田沼武能の3氏によって選考を行った。  
名取賞に山本剛士「黙殺黙止～福島の消えた歳月～」(モノクロ30枚)を、奨励賞に片山育美「とうふ屋のおじちゃん～a period of time～」(モノクロ30枚)を選び、授賞式を12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。

②2013年第9回「名取洋之助写真賞受賞作品写真展」を催した。

会期	場所	入場数
平成26年2月7日(金)～13日(木)	東京・富士フィルムフォトサロン東京	8,525名
平成26年2月27日(木)～3月2日(日)	福島・福島市民ギャラリー	77名
平成26年3月19日(水)～4月1日(火)	宮城・ニコンプラザ仙台フォトギャラリー	613名
平成26年4月4日(金)～10日(木)	大阪・富士フィルムフォトサロン大阪	3,336名

- (3) 「第38回2013JPS展」入賞・入選者289名を5月18日(土)、東京都写真美術館ホールで表彰した。  
入賞・入選者総数：289名〔一般部門：257名(文部科学大臣賞1名、新設・東京都知事賞1名、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、奨励賞5名、優秀賞27名、入選219名)、20歳以下部門：39名(最優秀賞1名、優秀賞9名、入選22名)〕  
入賞者：文部科学大臣賞・寺田功子「川面」(カラー3枚組)  
東京都知事賞・塩見芳隆「寒の修行」(カラー単)  
金賞・伊藤久幸「毛繕い」(カラー単)  
銀賞・藤城京輔「雨宿り」(カラー単)、銀賞・四方伸季「島時間」(カラー5枚組)  
銅賞・柴原 連「八重洲横丁」(カラー5枚組)、銅賞・若林 洋「断たれた思い」(カラー単)  
銅賞・田村治義「寒行」(カラー単)、以下省略

## 公6事業、写真に関する国際交流事業

(1) 国際交流セミナー、研究会を開催した。

開催名	場所	日時	参加数
第1回「インドネシア撮影情報セミナー」 講師：石井将勝(時事通信社現ジャカルタ支局長)、高橋直美(インドネシア共和国観光クリエイティブエコノミー省) タナン・アグシオ(国際機関日本アセアンセンター観光交流部長)	日本アセアンセンター「アセアンホール」	平成26年2月14日(金)	46名
第2回(関西)「ランドセルは海を越えて 写真家の国際貢献援助活動」講師：内堀タケシ(JPS会員)	大阪本町愛日会館	平成26年3月8日(土)	44名

- (2) 来日する海外写真家との交流をした。  
(3) 海外の写真情報の収集として、マケドニア共和国より、2016年4～7月期間で写真取材の招聘があり話し合いをした。

(収益事業)

### **収 1 事業、書籍、物品の販売事業**

- (1) 『2013JPS展作品集』を製作し、5月18日に発行した。
- (2) ネガカバー、ファイルなど写真整理用品の製作及び販売をした。
- (3) 海外プレスカードの発行をした。

(その他の事業 共益事業)

### **他 1 事業、ニュース、名簿の製作発行业をした。**

- (1) 『JPSニュース』の発行。年11回 (No. 507～517)
- (2) 『会員名簿2014～2015』版を1月に発行した。(会員証製作費含む)

### **他 2 事業、祝賀会の事業**

- (1) 会員相互祝賀会を12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。参加者308名。

### **他 3 事業、保険の事業**

- (1) 「2013年 J P S 団体所得補償保険」に団体加入した。